

2011.3.28（月） 災害対策本部打ち合わせ

15時～ 3キャンパス打ち合わせ（TV会議システム）

（進行：総務部長）

1. 報告事項

1. 文部科学省の視察について

- ・本日、9時40分から土樋キャンパスで文部科学省の視察が行われた。
- ・文部科学省からは、高等教育局長、同局国立大学法人支援課、私学行政課等4名の役職者が来学した。そのうち、行政課法人係長■■■■氏は、平成8年度教養学部卒ということである。
- ・学生・教職員の安否確認、建物（3キャンパス）の状況について説明を行った。
- ・大学からの要望を口頭で伝えた。文書は、追って文部科学省へ提出することを伝えてある。

2. 多賀城キャンパス

- ・3月25日に多賀城キャンパスのほとんどの教室、工学基礎教育センターの被災状況を調査し、学務担当副学長、学務部長等に結果を報告している。
- ・3月26日に、礼拝堂の撤収作業を行った。最終的な避難者は約100名で、多賀城市市民センターなどの避難所に移動した。
- ・本日からキャンパスへの入校を許可した。教員は一部の研究室への入校を許可し、学生は、9時から17時にかぎり、正門での許可を得た上で入校させている。

2. 泉キャンパス

- ・本日、工学部教員に1号館、2号館の調査をしてもらった。その結果は工学部長を通して災害対策本部へ通知される。貯水槽については、応急処置を施すことで、4月半ばには利用できるものと考えられる。
- ・本日から学生の入校を許可しているが、就職活動に加え、各種証明書の発行のための入校も許可している。
- ・泉キャンパスのネットワーク関係の復旧作業を行い、現在は通常通り稼働している。
- ・サーバールームの加湿器は、業務用加湿器の調達に時間がかかることが予想される。

3. 学生部

- ・学生安否確認（11時現在）は、11,984名の安否確認が終了し、233名が未確認となっている。現在、各避難所の名簿や死亡者リストとの照合を行っている。
- ・学生支援機構から、緊急奨学金の申し込み受付を始めているという連絡を受けている。ホームページでの周知を図りたい。

4. 施設部

- ・3キャンパスの被災状況結果を配付した。

5. 学長室

- ・ 学生部長との連名で、「災害ボランティアの募集」に関する文書を作成した。
- ・ 「災害ボランティア・ステーション」を立ち上げ、ボランティアを希望する学生に登録してもらうこととする。今後、社会福祉協議会とのマッチングを図る。また、学生会常任委員会に、ステーションのスタッフとして動いてもらう。
- ・ 大学として公認の活動であれば、従来のボランティア保険が適用になる。
- ・ 個別の教員・学生のボランティアの情報の集約を図りたい。
- ・ 当面は、土樋・多賀城のステーションを中心に活動を進める。泉キャンパスのステーションは、貯水槽の問題が解決次第、立ち上げる。
- ・ 他大学からの協力要請についても、ステーションが対応したいと考えている。
- ・ 3月29日から9時から17時の間で、ステーションの運営を行う。登録した学生・教職員に、さまざまな活動を行ってもらおう。
- ・ 社会福祉協議会から、ボランティアスタッフの駐車場、宿泊場所を設けられないかという申し出があった。期限は決まっていないが、体育館前のスペースなどを考えている。
- ・ 土樋のステーションは、5月頃までの暫定的な窓口として、8号館3階の教員控室を考えている。
- ・ すでに活動を始めている教員やそのゼミ生などは、全体的な活動の把握をするため、一度ステーションに登録してもらうこととする。活動を進めている教職員へ声かけをしてもらいたい。
- ・ 多賀城キャンパスへのステーション設置は、どのような体制・支援になるのかという質問があり、多賀城キャンパス学生係で学生から申し込みを受け付けることとし、すでに実質的な対応は行っているため、その拡充になるという回答がなされた（中心は、志子田学長室副室長、荒井職員）。

6. 学務担当副学長

- ・ 3月25日締め切りの入学手続き状況

1. 手続きを完了した者：約2900名
2. 3月28日以降手続き完了予定者：80名
3. 入学意思を表明した者：50名

合計：約3030名

入学辞退者：10数名

現時点で、3000名ほどが入学の意思を表明している。来年度入学に変更する入学生などを考慮しても、予定していた2950～2960名の入学生は確保できるものと考えている。

- ・ 新入生に対する財政的な支援は、現行の緊急給付奨学金の拡充に加え、授業料減免措置の基本方針が以下のとおり決まっている。
 1. 主たる家計維持者が死亡または行方不明の場合：授業料1年分免除
 2. 自宅が全壊した場合：授業料後期分を全学免除
 3. 自宅が半壊した場合：授業料後期分を半額免除
 4. 自宅が浸水した場合：見舞金を支給

7. 情報システム部

- ・事務パソコン等の被災状況について、土樋・泉でヒアリングを行っている。両キャンパスのヒアリング終了後、多賀城キャンパスでもヒアリングを行う。

8. 生協

- ・3月29日から、3キャンパス各店に職員が常駐する。
- ・卒業生への出資金返還は、残り2,000名分を郵送あるいは銀行振込で返還する。
- ・卒業式の貸衣装代の返金は、土樋店に来店した学生に行う。
- ・泉キャンパスで、賃貸アパート等の斡旋が可能になる。多賀城でも、賃貸斡旋・安全確認は進んでいる。
- ・泉キャンパスの新入生サポートセンターについては、別途案内する。

9. 入試部

- ・先週、入学手続きを完了した新入生に対して、往復はがきで「入学式中止のお知らせ」を郵送し、安否確認を行っている。

10. 学生部

- ・**個人情報により削除**が行方不明であるという家族からの連絡があった。

2. 協議事項

- ・なし

3. その他（次回の日程等）

- ・文部科学省から、被災した学生の状況を確認してほしいという要望があった。
- ・次回の災害対策本部打合わせは、3月30日10時から行う。